

## 施策名：県民文化の創造

事業名	担当課・局・室名	ページ
大分県民芸術文化祭開催事業	文化スポーツ振興課	2 / 13
芸術文化基金事業	文化スポーツ振興課	3 / 13
別府アルゲリッチ音楽祭	文化スポーツ振興課	4 / 13
大分アジア彫刻展	文化スポーツ振興課	5 / 13
青少年舞台芸術鑑賞事業	文化スポーツ振興課	6 / 13
香りの文化振興事業	文化スポーツ振興課	7 / 13
地域の文化活動支援事業	文化スポーツ振興課	8 / 13
県立美術館建設事業	県立美術館推進局	9 / 13
おおいた学校文化活動活性化推進事業	文化課	10 / 13
県庁舎等特設ギャラリー設置事業	文化課	11 / 13
郷土の先達・地域文化顕彰事業	文化課	12 / 13
おおいた県民美術鑑賞推進事業	文化課	13 / 13

事業名	大分県民芸術文化祭開催事業 (地域から文化力推進事業)	事業期間	平成 1 1 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民、文化団体	現状・課題	県民が広く文化についての理解と関心を深めるためには、文化活動に接する多くの機会が必要であるが、財政基盤が脆弱な文化団体単独では大分県民芸術文化祭のような大規模の文化イベントは実施できない。
	意図	芸術文化活動の発表の場と鑑賞の機会を図る		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト				
				2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 (予算)	
芸術文化フェスティバル	開幕行事、閉幕行事、県美展を開催 (3行事) 研修事業、記念行事、ジャンル別文化行事、若者文化行事を開催 (24行事)	間接補助	大分県民芸術文化祭 実行委員会	総コスト	33,000	28,000	28,000	27,966
				事業費	25,000	20,000	20,000	19,966
地域文化フェスティバル 参加行事	地域文化行事を開催 (6行事) 文化団体による関連催事を後援 (168行事) 全体総参加者数319,072人(うち主催行事参加者数26,861人)			うち一般財源	10,000	10,000	9,850	9,966
				人件費	8,000	8,000	8,000	8,000
				職員数 (人)	0.80	0.80	0.80	0.80

[事業の成果等]

事業の成果	県内各地で開催された行事は200を超え、全体総参加者数は約32万人を数えた。芸術・伝統・生活など多様なジャンルの文化行事を開催し、県民に文化の発表・鑑賞機会を提供することにより、地域文化の活性化を図ることができた。	活動指標	指標名 (単位)		事業の実績		最終目標		
			補助対象のみの開催行事数 (回)	31	33	目標値	目標年度		
成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	最終達成 (年度)	評価	備考
	全体の開催行事数 (回)	目標値	180	180	180	180		達成	
		実績値	216	223	201				
		達成率	120.0%	123.9%	111.7%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの協働が可能	大分県文化振興条例	実行委員会事務局は17年度から移管した民間団体が運営主体となっているが、県民芸術文化祭は個々の文化団体の発表機会であるとともに、全ての県民が文化活動の発表と鑑賞の機会を等しく得るための事業であり、県民の芸術文化振興策として非常に有効な事業であるため、民間団体と協働しつつ引き続き県が支援していく必要がある。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	2 3 年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し (業務の民間委託など) を図っているか	図っている (拡大困難)	・実行委員会事務局を民間団体 (大分県芸術文化振興会議) に移管 ・各種助成制度や基金の積極的な活用	2 1 年度	2 3 年度	総コスト / 成果指標の実績値
			153 千円/回	139 千円/回	

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	県民が広く文化について理解と関心を深めるためには事業の継続が必要のため
改善計画等	・各種助成制度や大分県芸術文化基金を活用することにより、事業規模を維持する予定		

事業名	芸術文化基金事業 (地域から文化力推進事業)	事業期間	昭和 6 0 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民、文化団体	現状・課題	文化団体は、財政基盤が脆弱で公的支援や協賛が得られなければ十分な活動が行えていない。そのため、文化団体と県が共同で積み立てた大分県芸術文化基金を活用して、NPO法人大分県芸術文化振興会議を通じて文化芸術活動を支援している。
	意図	文化芸術活動の振興を図る		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト				
				2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 (予算)	
補助事業 芸術鑑賞事業（文化キャラバン） 文化芸術活動調査研究・情報発信 事業	文化活動実施団体への補助（48事業） 県内小中学校等での公演・展示事業（33会場） 大分県文化年鑑の発行やホームページによる情報発信	間接補助	大分県芸術文化 振興会議	総コスト	12,621	12,621	12,621	12,621
				事業費	7,621	7,621	7,621	7,621
				うち一般財源				
				人件費	5,000	5,000	5,000	5,000
				職員数（人）	0.50	0.50	0.50	0.50

[事業の成果等]

事業の成果	NPO法人大分県芸術文化振興会議への補助を通して、県内の芸術文化団体による自主的な活動を支援し、芸術文化団体の幅広い連携を促進し、芸術文化の振興に寄与することができた。 ・団体会員 157団体、個人会員 150名（平成23年度末現在）						活動指標	指標名（単位）		事業の実績		最終目標	
								文化キャラバン実施数（回）		2 2 年度	2 3 年度	目標値	目標年度
								補助事業数（件）		33	39	30	
成果指標	指標名（単位）	達成度	2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	最終達成 （年度）	評価	備考				
	文化キャラバン鑑賞者数（人）	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000		達成					
		実績値	6,478	7,383	8,469								
		達成率	92.5%	105.5%	121.0%								

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの協働が可能	大分県文化振興条例	文化団体と県が共同で積み立てた大分県芸術文化基金を活用して、NPO法人大分県芸術文化振興会議を通じて文化芸術活動を支援していることから、今後も県の関与が必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	2 3 年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し（業務の民間委託など）を図っているか	図っている (拡大困難)	・事業を民間団体（NPO法人大分県芸術文化振興会議）に移管	2 1 年度	2 3 年度	総コスト / 成果指標の実績値
			1,948 円/人	1,490 円/人	

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	文化団体の活動を継続するためには引き続き支援が必要のため
改善計画等	・NPO法人大分県芸術文化振興会議とのより一層の連携		

事業名	別府アルゲリッチ音楽祭 (地域から文化力推進事業)	事業期間	平成 10 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民・県外者・県出身音楽家	現状・課題	世界的な高水準の音楽享受できる機会が少なく、機会がある場合も一部のクラシック音楽ファンに限られている。
	意図	県民が優れた芸術を享受できる機会を提供する		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト				
				21年度	22年度	23年度	24(予算)	
オーケストラ・コンサート マラソン・コンサート 県出身若手演奏家コンサート ピノキオコンサート	世界一流の指揮者とピアニストによるオーケストラ・コンサート 世界一流の演奏家による室内楽コンサート 県出身の若手演奏家によるコンサート 子どものための無料コンサート	負担金	アルゲリッチ 芸術振興財団	総コスト	40,000	38,000	38,000	45,000
				事業費	30,000	30,000	30,000	30,000
				うち一般財源	29,467	29,467	30,000	30,000
				人件費	10,000	8,000	8,000	15,000
				職員数(人)	1.00	0.80	0.80	0.80

[事業の成果等]

事業の成果	巨匠マルタ・アルゲリッチを中心とする国際音楽祭を、別府市、大分市の主催場のほか県内各地域で開催することにより、県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、国内外に向けて最高レベルの芸術イベント開催地として情報を発信することができた。						活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標	
	対象コンサート数(回)		4	4	目標値	目標年度							
成果指標	指標名(単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成(年度)	評価	備考				
	総入場者数(人)	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000							
		実績値	8,283	8,840	6,351								
		達成率	165.7%	176.8%	127.0%								

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	大分県文化振興条例	アルゲリッチ芸術振興財団が音楽祭の運営を主体的に行っているが、当音楽祭は、本県を代表する文化創造事業であり、県民に優れた芸術を享受する機会を提供するとともに、大分県の芸術文化を国内外に情報発信していくため、県のサポートが必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	一部図っている(拡大可能)	・公演ごとに実施するアンケートの結果を事業遂行に反映 ・サポート委員会の活用、ボランティア研修実施等によりボランティアとの協働を推進	21年度	23年度	総コスト / 成果指標の実績値
			4,829 円/人	5,983 円/人	

[総合評価]

方向性	見直し(24年度)事業内容の拡充	方向性の判断理由	県民の支持を広げ、ボランティアを充実することにより、別府アルゲリッチ音楽祭の自立を図る必要があるため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽祭の運営主体であるアルゲリッチ芸術振興財団の体制強化を支援するとともに、幅広い県民の理解を得るため、子ども達や県民が本物の音楽に触れる機会となる「ピノキオ」や「病院訪問」コンサート等の音楽を通じた社会貢献活動の一層の充実</li> <li>ボランティアとの協働を一層推進させ、音楽を通じた地域振興に取り組むとともに事務の効率化を推進</li> <li>来場者及び収入の増加に向けて、県内外への広報活動の充実</li> </ul>		

事業名	大分アジア彫刻展 (地域から文化力推進事業)	事業期間	平成 4 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	日本やアジアにおける現代の多彩な芸術・文化に触れる機会が少ない。
	意図	国内外の優れた芸術・文化に触れる機会を有する		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト				
				21年度	22年度	23年度	24(予算)	
福岡アジア美術館連携事業	福岡アジア美術館に滞在する海外アーティストのワークショップ (15名参加)	負担金	大分アジア彫刻展 実行委員会	総コスト	9,250	13,225	9,000	12,055
大分アジア彫刻展 (作品公募) “現代のかたち” vol.6 ～別府大分まちなか彫刻展～ どんどこ! 巨大紙相撲豊後大野場所	出品作品募集 (国内125点 国外121点) 大分市・別府市内の宿泊施設で紹介展を実施 (15か所) 豊後大野市での巨大紙相撲大会とワークショップ			事業費	4,250	8,225	4,000	7,055
				うち一般財源				
				人件費	5,000	5,000	5,000	5,000
		職員数 (人)	0.50	0.50	0.50	0.50		

[事業の成果等]

事業の成果	各種ワークショップの開催により、県民の芸術文化の意欲を高めるとともに、宿泊施設ロビーにおれる紹介展”現代 (いま) のかたち”の開催により、広く県民に質の高い芸術に触れる機会を提供した。	活動指標	指標名 (単位)		事業の実績		最終目標	
			21年度	23年度	目標値	目標年度		
			紹介展実施会場数 (会場)	2	15			
			ワークショップ実施回数 (回)	3	2			

  

成果指標	指標名 (単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成 (年度)	評価	備考	
	作品応募数 (作品)	目標値		459		459			著しく 不十分	ビエンナーレ (隔年) 方式をとるため、隔年で事業の成果を記載している。今回、事務効率化のため国内応募者の出品料を増額し、受賞対象点数を増やすために賞金額を減額したことが応募数の減少の原因と考える。
		実績値		431		246				
		達成率		93.9%		53.6%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	大分県文化振興条例	大分県出身の朝倉文夫を顕彰する大分アジア彫刻展を優れた芸術文化作品を鑑賞する契機として県民による文化創造の意欲を刺激し、また彫刻芸術を通じたアジア諸国との国際交流を推進するためには地元豊後大野市と連携 (共催) して県が実施する必要がある。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
			21年度	23年度	
事業の簡素化、実施方法の見直し (業務の民間委託など) を図っているか	一部図っている (拡大可能)	・海外での予備審査を廃止し、日本において一括審査 (中国を除く) ・応募方法を国内外ともに郵送からインターネットによる応募に変更	21 千円/人	37 千円/人	総コスト / 成果指標の実績値

[総合評価]

方向性	見直し (24年度) 事業内容の拡充・効率化の推進	方向性の判断理由	大分アジア彫刻展のPRを効果的かつ効率的に行い、次回の応募者数を増加させるため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大分こども彫刻展」や野外彫刻イベントの開催により、県民に向けた第11回大分アジア彫刻展の周知</li> <li>県内外からの来場者増加を図るため、県の広報媒体 (プロモーションミックスなど) を活用した積極的なPR</li> <li>次回応募者数を増やすため、アジア地域の窓口機関 (美術館) との連携</li> </ul>		

事業名	青少年舞台芸術鑑賞事業 (地域から文化力推進事業)	事業期間	平成 16 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	中学生、高校生	現状・課題	中学生、高校生が質の高い舞台公演及び美術展覧会に触れるきっかけが少なく、芸術文化に対する興味を引き出せていない。
	意図	芸術文化への興味を引き出す		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト				
				2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 (予算)	
青少年舞台芸術鑑賞事業	学校を通じて、県内で行われる質の高い舞台公演及び美術展覧会の鑑賞希望者を募り、招待者を決定後、学校あてにチケットを送付 委託先：NPO法人大分県芸術文化振興会議	全部委託	県	総コスト	4,435	4,435	4,000	3,904
				事業費	3,435	3,435	3,000	2,904
				うち一般財源			3,000	2,404
				人件費	1,000	1,000	1,000	1,000
				職員数 (人)	0.10	0.10	0.10	0.10

[事業の成果等]

事業の成果	指標名 (単位)	事業の実績		最終目標	
		2 2 年度	2 3 年度	目標値	目標年度
公演後のアンケート調査では、「私の人生のとても大きな思い出になりました、言葉にならないほど感動しました」「歌舞伎の使われている言葉を理解できるようになって、また見に行きたいです」「オペラは初めてみたけど迫力があって感動しました」といった感想が寄せられ、子どもたちにとって、文化芸術に触れるきっかけとして充分機能している。	鑑賞した公演数 (回)	52	37		

  

成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	最終達成 (年度)	評価	備考
	鑑賞者数 (人)	目標値		660	660	660	856		
		実績値		951	1,087	930		達成	
		達成率		144.1%	164.7%	140.9%			

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	NPOとの協働が可能	大分県文化振興条例	次代の文化の担い手となる子どもたちに対して文化的環境を整備することは県の役割であり、引き続き県が実施することが必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	2 3 年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
			2 1 年度	2 3 年度	
事業の簡素化、実施方法の見直し (業務の民間委託など) を図っているか	図っている (拡大困難)	・平成 2 0 年度から事務を民間団体 (NPO法人大分県芸術文化振興会議) に委託	4,664 円/人	4,301 円/人	総コスト / 成果指標の実績値

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	中・高校生が鑑賞のきっかけを作るためには事業の継続が必要なため
改善計画等	・県内全域の子どもたちが文化芸術に触れる契機となるよう、学校への周知を促進		

事業名	香りの文化振興事業 (地域から文化力推進事業)	事業期間	平成 19 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	国内有数のコレクションである県有財産が有効活用されておらず、古来から生活を豊かにしてきた香りの文化を身近に感じる機会が少ない。
	意図	香りの文化に親しむ機会を提供する		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	21年度	22年度	23年度	24(予算)
香水づくりプチ体験事業	香水づくりの出張講座をおこない、県民に香水づくりの楽しさを体験してもらう事業(県内6か所、362名参加) 委託先：学校法人別府大学	全部委託	県	総コスト	5,158	5,159	4,659	4,680
				事業費	3,158	3,159	2,659	2,680
著名人による情報発信事業	コウケンテツトークショーの実施(入場者178名) 委託先：おおいたインフォメーションハウス株式会社 平成24年3月4日、大分香りの博物館			うち一般財源			759	180
				人件費	2,000	2,000	2,000	2,000
				職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20

[事業の成果等]

事業の成果	指標名(単位)	達成度	事業の実績				最終目標		
			22年度	23年度	目標値	目標年度			
香水づくりプチ体験や著名人によるトークショーの実施など積極的な情報発信を行ったことにより、入館者や、調香体験者数の増加につながった。	活動指標								
	香水作りプチ体験イベント実施回数(回)		6	6					
成果指標	指標名(単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成(年度)	評価	備考
	入館者数(人)	目標値	21,000	22,000	23,000	28,000		達成	
		実績値	27,705	27,300	27,643				
		達成率	131.9%	124.1%	120.2%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	なし	県の財産である旧香りの森博物館の収蔵品を貸付けて実施している事業であり、県有財産をうまく活用し、スムーズな博物館運営ができるように県が実施する必要がある。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・大分香りの博物館と連携し、事業を実施 ・「著名人による情報発信事業」を企画提案競技による委託で実施	21年度	23年度	総コスト / 成果指標の実績値
			186 円/人	169 円/人	

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	県有財産を有効活用し、香りの文化に親しむ機会を提供していく必要があるため
改善計画等	・入館者の増加を図るため、県の広報媒体を活用した積極的なPR		

事業名	地域の文化活動支援事業 (地域から文化力推進事業)	事業期間	平成 20 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	文化スポーツ振興課

[目的、現状・課題]

目的	対象	児童、生徒及び県民	現状・課題	本美術展は全県下の児童及び生徒から約10万3千点の応募が寄せられる全国的にも類を見ない規模の美術展であり、本県の明日を担う子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、文化振興を図る上で果たす役割は極めて大きい。
	意図	子どもたちの創造性豊かな表現力を育み、県民に絵画作品の鑑賞機会を提供する		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	21年度	22年度	23年度	24(予算)
地域の文化活動支援事業	第29回高山辰雄賞ジュニア美術展の開催支援 開催期日：平成23年8月23日～8月28日 展示会場：大分県立芸術会館 応募数：102,491作品 入賞者数：推奨 1,000点、うち優賞11点 入場者数：6,802名	直接補助	高山辰雄賞ジュニア美術展実行委員会	総コスト	3,542	2,542	2,200	2,200
				事業費	1,542	1,542	1,200	1,200
				うち一般財源				
				人件費	2,000	1,000	1,000	1,000
				職員数(人)	0.20	0.10	0.10	0.10

[事業の成果等]

事業の成果	指標名(単位)	事業の実績		最終目標	
		21年度	22年度	目標値	目標年度
保育園、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校から約10万3千点の作品が応募されるなど、子どもたちの表現力や感性、創作意欲を伸ばすことに貢献するとともに、多くの県民に絵画の鑑賞機会を提供した。	活動指標	1	1		

  

成果指標	指標名(単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成(年度)	評価	備考	
	応募作品数(作品)	目標値		100,000	100,000	100,000	100,000		達成	
		実績値		114,710	111,244	102,491				
		達成率		114.7%	111.2%	102.5%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	民間団体による実施が妥当	大分県文化振興条例	県内全域の幼稚園生から高校生まではほぼ全ての子どもが参加している全国でも例のない事業であり、県の関与は必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
			21年度	23年度	
			事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	

[総合評価]

方向性	見直し(24年度)効率化の推進	方向性の判断理由	実行委員会が補助を受けずに単独で美術展を開催できる団体へ移行する方向性をつける必要があるため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度に補助金の上限額を1,500千円から20%減の1,200千円に見直し</li> <li>・25年度は、県立美術館と連携した事業内容への再構築を検討</li> </ul>		



事業名	県立美術館建設事業	事業期間	平成 23 年度～平成 26 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	県立美術館推進局

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	県立美術館の整備にあたっては、建設プロセスを県民と共有するなど、美術館が地域活性化やまちづくりに貢献できるようソフト対策の充実が求められている。
	意図	感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高めるため、県立美術館を建設する		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	21年度	22年度	23年度	24(予算)
					総コスト			3,599,982
設計者選定委員会の開催 建築設計の委託	委員会の設置、開催、設計業者の選定 建築設計業務等委託契約の締結 委託先：株式会社坂茂建築設計	直接実施 全部委託	県 県	事業費			3,509,982	388,000
				うち一般財源			12,220	18,971
建設予定地の購入 地域説明会等の開催	大分県土地開発公社からの土地の買い戻し 県立美術館建設に係る説明会の開催	直接実施 直接実施	県 県	人件費			90,000	100,000
				職員数(人)			9.00	10.00

[事業の成果等]

事業の成果	活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標	
		22年度	23年度	目標値	目標年度		
建設地の決定に伴い、土地開発公社から土地を買い戻した。 設計者選定委員会を設置し、建築設計者を公募のうえ選定し、建築設計業務等委託契約を締結した。 地域説明会の開催や経済団体や美術団体等への説明などを通じて、県民との建設プロセスの共有化が図られた。	設計者選定委員会開催回数(回)		3	3	23		
	第1回地域説明会参加者数(人)		307				
	第2回地域説明会参加者数(人)		292				

  

成果指標	指標名(単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成(年度)	評価	備考					
							目標値					1		達成
							実績値					1		
							達成率					100.0%		
建設地の決定(か所)														

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	なし	県立施設を設置する事業であり、県で対応する必要がある。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
			21年度	23年度	
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・全体事業費を常時見直し		3,599,982 千円/か所	総コスト / 成果指標の実績値

[総合評価]

方向性	見直し(24年度)事業内容の変更	方向性の判断理由	県立美術館の開館に向けた計画に沿って事業内容が変わるため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24年度は、基本設計に引き続き実施設計を実施</li> <li>・建設プロセスの県民との共有を図るとともに地域との連携を促進するため、市内商店街の空き店舗を活用した情報発信拠点「県立美術館まちなか支局」を設置</li> </ul>		

事業名	おおいた学校文化活動活性化推進事業	事業期間	平成 22 年度～平成 24 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	教育庁 文化課

[目的、現状・課題]

目的	対象	高等学校の文化部の指導者、生徒	現状・課題	高校生の文化活動は、地域文化力の向上に貢献できる人材を育成する上で期待されているが、顧問に専門的知識や指導力が不足している。
	意図	指導者、生徒がスキルアップする		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト				
				21年度	22年度	23年度	24(予算)	
バトン部指導者講習会 吹奏楽部指導者講習会 放送部指導者講習会	講習会を2回実施（教諭等延べ64名参加） 講習会を1回実施（教諭等延べ105名参加） 講習会を2回実施（教諭等延べ54名参加） 平成25年インターハイ開催に向け3部門を選択	直接実施	県	総コスト		3,678	4,005	5,253
				事業費		678	1,005	2,253
				うち一般財源		678	1,005	2,253
				人件費		3,000	3,000	3,000
				職員数（人）		0.30	0.30	0.30

[事業の成果等]

事業の成果	各部とも、ハイレベルな指導者による指導で、部顧問の指導力アップに寄与した。また、参加生徒も大幅に増え、講師から直接指導を受けることで技術力アップはもちろんのこと、視野が広がり、高みを目指す意欲を大いにかきたてられた。各分野からは、毎年度の開催を熱望されている。	活動指標	指標名（単位）		事業の実績		最終目標		
			22年度	23年度	目標値	目標年度			
			講習会受講者数（人）	91	223	100	24		
成果指標	指標名（単位）	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成 (24年度)	評価	備考
	九州大会における金賞・優秀賞等受賞校数（校）	目標値		2	3	3	3	著しく 不十分	評価が著しく不十分となったのは、全日本マーチングコンテスト九州大会金賞受賞校が2校から1校に減少したため。
		実績値		2	1				
		達成率		100.0%	33.3%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	なし	高等学校の文化部活動に対する援助として、県が高等学校文化連盟に補助金を交付しているが、各文化部活動に対する支援にとどまっており、更なるスキルアップを行うための支援は高等学校の設置者である県が行う以外にはない。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し（業務の民間委託など）を図っているか	一部図っている（拡大可能）	・講習会の開催について学校や高文連各専門部と業務分担	22年度	23年度	総コスト
			1,839	4,005	/
			千円/校数	千円/校数	成果指標の実績

[総合評価]

方向性	終了（24年度末）	方向性の判断理由	平成25年度のインターハイ総合開会式に向けたスキルアップのためインターハイ開会に伴い事業を終了
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>講習会への生徒の参加機会を拡充</li> <li>吹奏楽部門においてさらなるスキルアップを図るため全国的な有力校を招聘し合同練習会等を開催</li> </ul>		

事業名	県庁舎等特設ギャラリー設置事業	事業期間	平成 22 年度～平成 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	教育庁 文化課

[目的、現状・課題]

目的	対象	芸術会館の収蔵作品	現状・課題	芸術会館は1,000点以上の洋画、彫刻、工芸作品を所蔵しているが、常設展示室がないため、恒常的に収蔵作品を展示・公開する機会が少ない。
	意図	積極的な活用で県民の鑑賞機会を拡大している		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	21年度	22年度	23年度	24(予算)
「芸術会館収蔵品特設ギャラリー」設置事業	大分県庁舎本館1階ロビー・大分県立図書館2階・大分県立病院1階中央待合ホールの各専用展示ケース内に、所蔵の洋画、彫刻、工芸作品2、3点を、会期を4期に分けて展示替えをして、通年展示	直接実施	県	総コスト		4,109	1,710	1,710
				事業費		2,909	710	710
				うち一般財源		2,909	710	710
				人件費		1,200	1,000	1,000
				職員数(人)		0.12	0.10	0.10

[事業の成果等]

事業の成果	年間利用者数が県庁舎は不明であるが、大分県立図書館は約50万人、大分県立病院は約20万人いるため、多数の県民に身近な場所で美術品を鑑賞できる機会を提供すると同時に、収蔵品の活用機会の拡充が図られた。	活動指標	指標名(単位)	事業の実績		最終目標	
			公開作品数(件)	22年度	23年度	目標値	目標年度
				27	25	24	

  

成果指標	指標名(単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成(年度)	評価	備考
	公開作品数(件)	目標値		27	25	24		達成	23年度以降の目標値に差があるのは、鑑賞者からの要望が強い大型作品を展示することとしたため。
		実績値		27	25				
		達成率		100.0%	100.0%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	なし	芸術会館に常設展示室がない状況は変わらないため、引き続き収蔵品活用及び鑑賞機会の拡大を図る必要がある。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図れない(見直し困難)	・県庁舎、大分県立図書館、大分県立病院との連携実施(H22～)	22年度	23年度	総コスト
			152千円/件	68千円/件	／
					成果指標の実績値

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	引き続き所蔵品の有効活用を図る必要があるため
改善計画等	・各開設施設の展示環境に適した公開作品を選定		

事業名	郷土の先達・地域文化顕彰事業	事業期間	平成 21 年度～平成 24 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	教育庁 文化課

[目的、現状・課題]

目的	対象	小中学生	現状・課題	地域によって芸術作品を鑑賞したり郷土の文化を学ぶ機会に格差が生じている。
	意図	芸術作品の鑑賞や郷土の文化を学ぶ機会がある		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	21年度	22年度	23年度	24(予算)
調査活動事業 展覧会事業 (スクールミュージアム)	地域文化・地域の先達の作品および資料に関する実地調査 (実施地域：豊後大野市、由布市、日出町、豊後高田市) 事前出前授業+学校での美術品展示 豊後大野市立朝地中学校 (授業2回 展示作品数40点 209名参加) 由布市立庄内中学校 (授業3回 展示作品数30点 267名参加) 日出町立日出小学校 (授業2回 展示作品数45点 808名参加) 豊後高田市立真玉小学校 (授業3回 展示作品数45点 316名参加)	直接実施	県	総コスト	6,500	4,500	4,500	5,000
				事業費	5,000	3,000	3,000	3,000
				うち一般財源				
				人件費	1,500	1,500	1,500	2,000
				職員数(人)	0.15	0.15	0.15	0.20

[事業の成果等]

事業の成果	一般アンケートでは「とても良い86.0%・良い11.9%・再実施希望91.9%」と評価が高く、学校側の満足度も高い。作品解説をした児童・生徒のアンケートでは、「楽しかった」「またやりたい」等の意見が多数をしめるなど、子どもたちにも好評であった。事前授業や展覧会をとおして、郷土の歴史や文化さらに美術館活動への興味や理解を促進した。	活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標		
			実施校累計数(校)	4	8	目標値	目標年度		
成果指標	指標名(単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成(24年度)	評価	備考
	アンケート結果(%) (とても良い・良いと回答)	目標値	80	80	80	80	80	達成	
		実績値	97	96	98				
		達成率	121.3%	120.0%	122.5%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	なし	芸術会館の所蔵品および資料をベースとした事業であり、実施には、美術品に関する専門的な知識と経験を有する学芸員が不可欠。現在のところ他に代替可能な団体はない。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・各地域での展覧会の広報宣伝は、当該市町村教委及び実施校に依頼	21年度	23年度	総コスト / 成果指標の実績値
			67 千円/%	46 千円/%	

[総合評価]

方向性	終了(24年度末)	方向性の判断理由	美術鑑賞授業を中心に未就学児の造形活動など新たな取り組みを加えた別事業を立ち上げるため
改善計画等	・24年度は白杵市・日田市・佐伯市・国東市又は姫島村で開催		

事業名	おおいた県民美術鑑賞推進事業	事業期間	平成 23 年度～平成 25 年度	上位の施策名	県民文化の創造
				担当課・局・室名	教育庁 文化課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	県立美術館の開館に向けて、県民の機運醸成が必要だが県立美術館構想の内容や芸術会館の所蔵品のすばらしさが周知されていない。
	意図	県立美術館の開館に向け美術への関心が高まる		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	21年度	22年度	23年度	24(予算)
企画検討運営委員会の開催	中津市(7名)竹田市(5名)から文化・商工・観光・福祉・行政関係者が参加し展覧会の内容を検討	共同実施	県 実施市町村	総コスト			6,998	8,013
所蔵名品展の開催	中津市：2/15～2/27 12日間 中津市小幡記念図書館 竹田市：1/31～2/12 12日間 竹田市立歴史資料館			事業費			3,998	5,013
関連イベントの実施	ギャラリー・トーク (学芸員、ボランティア) 造形ワークショップ (竹工芸、積木、モザイク) 鑑賞授業 (小中学生)			うち一般財源			3,998	5,013
				人件費			3,000	3,000
		職員数 (人)					0.30	0.30

[事業の成果等]

事業の成果	中津や竹田ゆかりの所蔵品90点を展示し、のべ計3,296人の入場者を得た。展覧会に対する満足度は、中津96%竹田94%とともに非常に高い。関連イベント参加者数のべ374人、鑑賞授業13校 323人。ボランティアは計25人が参加するなど、県民が参画し、さまざまな美術鑑賞の方法を体験する機会を提供できた。	活動指標	指標名 (単位)		事業の実績		最終目標	
					22年度	23年度	目標値	目標年度
			展覧会入場者数 (人)			3,296	3,500	25
			関連イベント参加者数 (人)			374	420	25
		鑑賞授業参加者数 (人)			323	420	25	

  

成果指標	指標名 (単位)	達成度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終達成 (25年度)	評価	備考
	展覧会アンケート結果 (%) (とても良い・良いと回答)	目標値			80	85	85	達成	
		実績値			95				
		達成率			118.8%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	なし	芸術会館の所蔵品および資料をベースとした事業であり、実施には、美術品に関する専門的な知識と経験を有する学芸員が不可欠。現在のところ他に代替可能な団体はない。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	23年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し (業務の民間委託など) を図っているか	一部図っている (拡大可能)	・中津市において「地域ボランティア」を育成・活用し、県民参加を促進 ・関連イベントや鑑賞授業を開催地の学芸員とともに実施	21年度	23年度	総コスト / 成果指標の実績値
				74 千円/%	

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	参加者の満足度が高く、継続して事業を実施する必要があるため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地域の既存事業との連携を強化</li> <li>・展覧会の広報活動を強化</li> <li>・県立美術館推進局との連携を強化</li> <li>・地域ボランティアの育成、子どもたちの鑑賞機会の拡大</li> </ul>		